

YMCA NEWS



■ホームページ
www.kumamoto-ymca.or.jp
■ブログ
kumamoto-ymca.wablog.com
■メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi



●発行所／(株)熊本YMCA／〒860-8739熊本市新町1-3-8 TEL.096-353-6397代
●編集人／神保勝巳 ●発行人／堀 弘雄 2009年1月1日発行(毎月1日発行)
1984年8月15日第3種郵便物認可 定価60円(送料60円)

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

創造性豊かな隣人愛あふれる社会の形成を願って



熊本YMCA常議員会議長 菅 正康

昨年熊本YMCAは創立60周年を迎え、日頃が増えてきたYMCAに集う皆様方に記念行事をはじめ諸関連行事の実施や、アジア・フレンドシップファンド委員の働きかけによる基金への協力、海外からのゲストの受け入れなどに多大なご支援、ご協力をいただき、感謝に耐えません。昨年度に学び経験したものを糧に、YMCAが今後さらに地域社会に貢献できるよう皆様の一層のご支援をお願いするとともに、近年に類を見ない厳しい経済情勢の中、新しい年が皆様一人ひとりとって意義あるものになるよう祈念いたします。

さて、改めて2008年のYMCAの活動をここに振り返ってみますと、今後取り組むべき多くの課題が見えてきます。近年の少子高齢化の進展と同業種民間企業の進出傾向はますます強まり、YMCAが提供するサービスの対象や質を変更する局面もありました。また、昨年特に顕著となった社会全般の経済情勢の落ち込みなどの影響を受けて、スタッフの方々の懸命な努力があるとは言え、必ずしも樂觀視できない状況にあると思います。その意味では私たち熊本YMCAに集い、YMCAの

社会的使命実現のために献身しようとする会員にとっても、さらに一層身を引き締めて関わらなければならぬと決意を新たにするとともに、

一方、世界全体が、一部の豊かな社会の余剰で生活が可能時代は幻想であったことに気づきはじめています。21世紀にふさわしい市民社会、あるいは共同体、コミュニティのあり方を模索し、各自が尊厳を持って暮らせる、より住みやすい社会を市民の手でつくり上げて行かねばならない時期であることを示しているのではないのでしょうか。

YMCAは19世紀半ばのロンドンで生まれました。YMCAは、キリスト教精神に根ざして、一貫して人間としてのあり方・生き方、平和かつ安全で生き生きと創造性豊かに、隣人愛あふれる社会の形成を目指して、特に青少年の夢と希望を育てるために力を注いできたネットワーク、社会的指導機関、同志の集まりです。だからこそ今日まで世界的にその活動が認められ、また多くの同志が自由意志で結集し(Association)目的遂行のために熱心に汗を流して来たと言えます。人間がつくり出す文明社会はともすれば、野心と虚栄、自己満足が渦巻き、競争心が煽られ、強者や富裕層はさらに権力を追求し、弱者と貧しい人々はただ絶望と羨望に支配される不平等格差社会になりがちだと、先人たちは指摘しています。その極端な方向にふれやすい傾向を本来の人間社会のあり方に引き戻す意

味でも、今後一層YMCA的世界観と働きは重要視されるでしょう。

今年、熊本YMCAでは「地域YMCA深化3カ年計画」の最終年度となります。熊本の地で展開する地域YMCAに集う人々の関係をさらに

深め、目の前に横たわる様々な課題解決に向けてスタッフ・会員一体となつて取り組もうという意図で掲げられました。会員や地域の人々の間に出会いと感動の機会を提供し、人間の回復と地域の再生に貢献するため、各方針を立て実行されています。地域への働きかけとしては、シングルペアレント家庭支援、地域まちづくり、清掃奉仕、独居高齢者支援、小セミナー開催等々があります。また、常議員でピアニストの島優子さんに卓越した技量を提供いただいた「チャリテイピアノノリサイト」をはじめ、各種60周年記念行事や同窓年行事の実施、ピースセミナーin熊本、YMCA交流会の開催、ユースリーダーの支援、タイ若竹寮生の受け入れなど多くのプログラムに対して会員スタッフが協働して取り組み、成果を挙げたところでは、再確認できたことはYMCAの最高の財産は、そこに共通の使命感と目的を持って集う仲間・会員・プロフェッショナルの存在です。そこで生まれた核となる小グループ、委員会の活動が前述したY

MCAの使命の実現と、社会的存在理由を示す最大の武器であり、他に類を見ない強みです。今年もさらに活動を強化し、また新たな課題解決グループの誕生を目指します。

最後に、紙面をお借りして会員の一人としてお願いしたいのは、本年6月熊本市で開催されるワイズメンズクラブ国際協会の西日本区大会へのご支援です。熊本YMCA常議員の佐藤典子さんが西日本区の理事を務め、YMCAの熱心な会員でもあるワイズメンたちが一丸となって成功を期して邁進しています。皆様の知恵と経験をお与えいただくことをお願いし、年頭のご挨拶といたします。



わたしと聖句

コヘレトの言葉第12章13節

すべてに耳を傾けて得た結論。神を畏れ、その戒めを守れ。

熊本東聖書キリスト教会 豊世 武士

真理を求めて

この「コヘレトの言葉」を書いた著者は、ダビデの子ソロモンです。彼の名はヘブル語では、「シャローム」平和・平安のことを指します。イスラエルの統一王国時代の3番目の王となり(紀元前971年〜931年)在位)ダビデとバテシエバによる子として誕生します。彼の生涯は歴代誌上第28章〜歴代誌下第9章、列王記上第1章〜第11章などに描かれています。当時エジプトのシエバの女王が彼の信仰と英知を聞き、多くの貴重品を携えてイスラエルの彼を訪問しています。

1997年に私共夫婦は、「ローマ、エジプト、イスラエル聖地の旅」を訪問することができました。そして、シエバの女王が船団を従えてシナイ半島のアカバ湾の突端の港エツヨンゲベル(エイラト)に着き、エルサレムを目指した場所に立たせて頂き、感激でした。

私共の教会は私の郷里で伝道開始七年目になりました。主イエス・キリストの真理、まことの救いを求めて、多くの人々が戸をたたいてくださることを願っています。